

令和5年第1回定例会総括質疑

令和5年3月6日

(14枚のうち1枚目)

順位	発言者	質疑事項	質疑の趣旨	質疑の相手	長から委任を受けた説明者
1	森山 良和議員	1 令和5年度施政方針	<p>(1) 基本目標2の特別支援学校の早期設置に向けた取組について、具体的な方針を示されたい。</p> <p>(2) 基本目標3の「郷土を愛し、豊かな心を育むまち」は市長の掲げる「教育日本一」の考えをどのように反映させた方針なのか。</p> <p>(3) 基本目標4の地域医療提供体制の充実を図る取組について、具体的な方針を示されたい。</p> <p>(4) 基本目標5の基幹産業である農業の安定的で収益性の高い経営支援は、今後も重要な取組として位置付けていく方針か。</p> <p>(5) 基本目標5の農林作物の被害防止と、ジビエ等の普及啓発に向けた鳥獣被害対策の内容を示されたい。</p> <p>(6) 基本目標5の国内外からの誘客やキャンプ場の利便性向上、効果的な情報発信のために必要と考えている施策目標を示されたい。</p> <p>(7) 基本目標6の防災行政無線の整備に向けた計画と内容を示されたい。</p> <p>(8) 基本目標6の行財政改革の継続と併せ、市民の利便性向上を図るとあるが、課題解決に向けてどのような考えと行動を示していくのか。</p>	市長	

令和5年第1回定例会総括質疑

令和5年3月6日

(14枚のうち2枚目)

順位	発言者	質疑事項	質疑の趣旨	質疑の相手	長から委任を受けた説明者
2	遠矢 寿子議員	1 令和5年度施政方針	<p>(1) ゼロカーボンシティ宣言について</p> <p>気候危機を回避し将来世代が生存可能な社会を維持するために、伊佐市が脱炭素に向けて取組を加速させることは素晴らしいことであるが、「2050年までに二酸化炭素の排出量実質ゼロ」という目標は庁内、未来館だけでなく、市民、市内全事業者と一体となって取り組まなければ実現できない。そこで、以下の点について伺う。</p> <p>ア 二酸化炭素の排出量実質ゼロを実現するための具体的な取組の検討や工程表等の策定は、すでに始まっているのか。また、市民、市内事業者等の参加の程度や態様はどうなるのか。</p> <p>イ 係の新設や専門職採用等の予定は。</p> <p>ウ 最後の段落にある「再生可能エネルギーの導入」とは、「伊佐市地球温暖化対策実行計画」に記載されている「建築物の建築に当たっての配慮として、太陽光発電設備の導入に努めること」との理解でよいか。</p> <p>(2) 学校教育について</p> <p>ア 子どもの学力について、「各種学力調査の分析を踏まえ」「確かな学力を身に付けさせる」との表現があるが、「主体的・対話的で深い学びの実現」との整合性は。</p> <p>イ 子どもたちだけでなく保護者の抱える問題も複雑・多様化する中、2021年度における長期欠席児童・生徒の数は、コロナ禍の影響もあり日本全国で24万人を超えた（2022年10月文科省発表）。「相談しやすい体制づくり」に加えて、一人でも多くの子どもが登校しやすい環境づくり、登校しない期間の居場所づくり等について、市としての考えを伺う。</p>	市長 教育長	

令和5年第1回定例会総括質疑

令和5年3月6日

(14枚のうち3枚目)

順位	発言者	質疑事項	質疑の趣旨	質疑の相手	長から委任を受けた説明者
2	遠矢 寿子議員	2 令和4年度 伊佐市一般会計補正予算(第10号)	<p>(3) 国保税率の引き上げを検討しているのか。引き上げるとしたらいつ頃を予定しているのか。</p> <p>(4) 令和5年度予算編成にあたり、施政方針との関連で特に重視した点は何か。また、従来とは方針を転換した施策等があれば伺う。</p> <p>(1) 第2表 繰越明許費補正、および歳入(款)21市債(項)1市債(目)1総務費(節)1総務管理費11,700千円の説明について、ふれあいセンター大規模改修分を「新庁舎建設事業」とひとまとめにしてあるが、両事業は「別々のもの」と説明されてきたのではなかったか。分けて記載しなければ、事業ごとの費用が不明確になるのではないか。</p> <p>(2) (款)6農林水産業費(項)1農業費(目)3農業振興費について、多数の事業につき減額が行われ、当初予算から18.6%の大幅減となった理由は何か。また、その背景に伊佐市の基幹産業である農業を取り巻く環境等の変化や問題点があれば伺う。</p>	市長	

令和5年第1回定例会総括質疑

令和5年3月6日

(14枚のうち4枚目)

順位	発言者	質疑事項	質疑の趣旨	質疑の相手	長から委任を受けた説明者
3	柿木原榮一議員	1 令和5年度施政方針	<p>(1) 基本目標3の「郷土を愛し、豊かな心を育むまち」の「奨学金制度において、本市に定住就業する場合に返還を免除等する制度の創設」の概要の説明と、「学校給食に係る保護者負担額の軽減のための支援」の規模と、「教育を取り巻く環境整備」の取り組む両方の財源の捻出は。</p> <p>(2) 基本目標6の「安全、安心な住みよいまち」で、「環境の保全においては、合併処理浄化槽への転換補助を拡充する」とあるが、合併処理浄化槽への転換何%を目標とするのか。リデュース、リユース、リサイクルの3R運動、空家対策、不法投棄対策などの取組を今以上の策を打ち出し、執り行うのか。</p>	市長 教育長	

令和5年第1回定例会総括質疑

令和5年3月6日

(14枚のうち5枚目)

順位	発言者	質疑事項	質疑の趣旨	質疑の相手	長から委任を受けた説明者
4	畑中 香子議員	1 令和5年度施政方針	<p>市内全域をカバーする防災行政無線の整備方針について</p> <p>(1) 議会で議論されてきたが、これまでの検討内容と整備方針を決めた経緯について</p> <p>(2) 未整備地区は。</p> <p>(3) 屋外拡声器と個別受信機が混在している状況であるが、未整備地区に設置予定の設備の方式は。</p> <p>(4) 整備に要する費用の概算額は。</p>	市長	

令和5年第1回定例会総括質疑

令和5年3月6日

(14枚のうち6枚目)

順位	発言者	質疑事項	質疑の趣旨	質疑の相手	長から委任を受けた説明者
5	庵下 信一議員	1 令和5年度施政方針	<p>(1) 基本目標5「活力ある産業と賑わいのあるまち」の中で、各農地と将来の耕作者を紐づける「地域計画」の策定とあるが、地域計画とはどのような計画か伺う。</p> <p>(2) 基本目標6「安全、安心な住みよいまち」の中で、市内全域をカバーする防災行政無線の整備に向けた準備に取り組むとあるが、防災行政無線の内容について伺う。</p>	市長	

令和5年第1回定例会総括質疑

令和5年3月6日

(14枚のうち7枚目)

順位	発言者	質疑事項	質疑の趣旨	質疑の相手	長から委任を受けた説明者
6	星野 元興議員	1 令和5年度施政方針	(1) 2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を宣言するとある。様々な施策が考えられる中、伊佐市が目指す具体的な将来ビジョンについて伺う。	市長	

令和5年第1回定例会総括質疑

令和5年3月6日

(14枚のうち8枚目)

順位	発言者	質疑事項	質疑の趣旨	質疑の相手	長から委任を受けた説明者
1	岩元 努議員	1 議案第9号 令和5年度伊佐市一般会計予算	<p>(1) (款) 6 農林水産業費 (項) 2 林業費 (目) 2 林業振興費 (節) 18 負担金補助及び交付金 32,393 千円のうち森林吸収源対策事業 20,734 千円の内容について伺う。 ア 森林吸収源対策事業とは、森林を活用して温室効果ガス削減を目指す政策であるが、温室効果ガス削減達成に向けた具体的な取組及び計画について示せ。</p> <p>(2) (款) 6 農林水産業費 (項) 2 林業費 (目) 2 林業振興費 (節) 18 負担金補助及び交付金 32,393 千円のうち新規苗木生産基盤施設整備事業 4,000 千円の内容を伺う。 ア 事業実施の経緯、事業者選定基準について示せ。 イ 今後の苗木生産拡大に向けた、取組及び計画について見解を伺う。</p>	市長	

令和5年第1回定例会総括質疑

令和5年3月6日

(14枚のうち9枚目)

順位	発言者	質疑事項	質疑の趣旨	質疑の相手	長から委任を受けた説明者
2	畑中 香子議員	1 議案第10号 令和5年度伊佐市国民健康保険事業特別会計予算	<p>(1) (款)3国民健康保険事業費納付金が前年度比較でマイナスとなった要因は。</p> <p>(2) 昨年から協議があった県財政安定化基金活用方針について、国民健康保険鹿児島県都市協議会からの要請内容と経過は。</p> <p>(3) 適正な税率への見解は。</p>	市長	

令和5年第1回定例会総括質疑

令和5年3月6日

(14枚のうち10枚目)

順位	発言者	質疑事項	質疑の趣旨	質疑の相手	長から委任を受けた説明者
3	遠矢 寿子議員	1 議案第9号 令和5年度伊佐市一般会計予算	(1) 投資的経費として大口元気こころ館大規模改修等が計上されている。今年度中にも大きく増加することが見込まれるが、財政状況・今後の見通しを伺う。	市長	

令和5年第1回定例会総括質疑

令和5年3月6日

(14枚のうち11枚目)

順位	発言者	質疑事項	質疑の趣旨	質疑の相手	長から委任を受けた説明者
4	柿木原榮一議員	1 議案第9号 令和5年度伊佐市一般会計予算	<p>(1) 歳入(款)20 諸収入(項)5 雑入(目)4 雑入(節)3 雑入の学校分収造林収益金 30,638千円について伺う。</p> <p>ア 学校分収造林収益金 30,638千円の根拠を示せ。</p> <p>イ 関係する学校分収林の学校と面積、容量を示せ。</p> <p>ウ 学校と伊佐市への配分があったと思うが、学校配分金の用途を把握しているか。</p> <p>エ 約60年前、その学校を卒業された先輩方が山の下刈り・カズラ切りの作業をして育てた木であったが、地域の方々への公表方法はどうか。</p> <p>オ 伐木したあとの管理はどうなるのか。</p> <p>(2) (款)4 衛生費(項)1 保健衛生費(目)6 公害対策費について、令和5年度の布計鉦山鉦害防止事業の内容を示せ。</p>	市長 教育長	

令和5年第1回定例会総括質疑

令和5年3月6日

(14枚のうち12枚目)

順位	発言者	質疑事項	質疑の趣旨	質疑の相手	長から委任を受けた説明者
5	福本千枝子議員	1 議案第17号 伊佐市学校分収造林収益基金条例の制定について	<p>第1条では「学校分収造林の収益を積み立て、学校の健全な経営等に資するため、伊佐市学校分収造林基金を設置する」とある。そこで、</p> <p>(1) 学校分収造林は伊佐市内全ての学校が持っているのか。持っているとするならば、各学校毎の面積を把握しているのか。</p> <p>(2) すでに廃校となった山野西・羽月北小学校、さらに統廃合となった大口南・山野中学校の扱いはどうなっているのか。廃校、統廃合となった時点で処分されたのか。</p> <p>(3) 立木は植栽され何年経過しているのか。基金条例を制定するということは伐採の時期に来ており、収益が見込まれると試算されたのか。</p> <p>(4) 第5条では「収益の積み立てを行った学校の経営に必要な財源に充てる場合に限り、基金の全部又は一部を処分することができる」とあるが、学校ごとに積み立てるのか。</p> <p>(5) この条例を制定するに至った経緯について伺う。</p>	教育長	

令和5年第1回定例会総括質疑

令和5年3月6日

(14枚のうち13枚目)

順位	発言者	質疑事項	質疑の趣旨	質疑の相手	長から委任を受けた説明者
5	福本千枝子議員	2 議案第9号 令和5年度伊佐市一般会計予算	<p>(款)9消防費(項)1消防費(目)2災害対策費(節)12委託料11,188千円は防災行政無線整備実施設計業務委託として、令和5年度新規事業・重点事業に計上されている。令和6年度に伊佐市全域に防災行政無線を整備するため、令和5年度は実施設計を行うとある。そこで、</p> <p>(1) 本市の防災行政無線の普及率について伺う。</p> <p>(2) 防災行政無線整備の設置予算及び設置戸数の試算は。</p> <p>(3) これまでそれぞれの自治会では独自に親機・子機を設置するため、多額の経費を捻出し、またアナログからデジタルにと変更もしてきた。今回は自治会の負担はないとされるが、これまで設置された自治会への説明は。</p> <p>(4) 伊佐市全域に整備するに至った経緯について伺う。</p>	市長	

令和5年第1回定例会総括質疑

令和5年3月6日

(14枚のうち14枚目)

順位	発言者	質疑事項	質疑の趣旨	質疑の相手	長から委任を受けた説明者
6	庵下 信一議員	1 議案第9号 令和5年度伊佐市一般会計予算	<p>(1) 歳入(款)10 地方交付税(項)1 地方交付税(目)1 地方交付税(節)1 普通交付税と(節)2 特別交付税の合計が78,000千円減少している要因は。また、今後も減少は続くのか。</p> <p>(2) 歳出(款)2 総務費(項)1 総務管理費(目)11 情報管理費(節)12 委託料112,657千円及び(節)17 備品購入費52,837千円の内容は。</p> <p>(3) (款)6 農林水産業費(項)1 農業費(目)4 畜産業費(節)18 負担金補助及び交付金の補助金、種畜造成事業400千円の事業内容は。</p>	市長	